

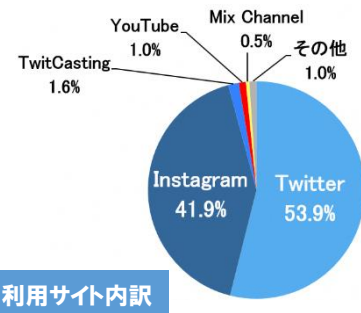


6 月時点の学校ネットパトロール調査結果をご報告いたします。

Instagram の利用者が増え、「ストーリー」という短編動画を投稿する機能が流行しています。動画には、個人情報の特定につながる情報が映り込んでしまう場合があり、思わぬリスクをインターネット上に拡散してしまわないよう、注意が必要です。

## 6 月度ネットパトロール調査結果

調査の結果発見された対象サイトの殆どは Twitter や Instagram などの SNS サイト(191 サイト)で、そのうち約 3 割が自分の名前を掲載していました。Instagram の利用者の増加傾向が続いています。また、自転車に乗りながら動画撮影している生徒が毎月発見されています。事故につながる可能性が大きいと思われます。



## 夏休みを迎えるにあたって

夏祭りや花火大会、部活の大会などのイベントが開催されると、その様子を写真や動画で撮影し、Twitter や Instagram に投稿する利用者が増加します。

特に最近では Instagram のストーリーに代表されるような短編動画の投稿が増えています。動画の場合、写真とは異なり様々なものが映り込みやすいため、利用者自身や友人、家族などの思わぬ個人情報を公開してしまうリスクがあります。

楽しいイベントで盛り上がった気持ちの勢いそのままに投稿をするのではなく、帰宅後など落ち着いた状態で、写真や動画を家族で確認し、問題となりそうなものが映り込んでいないかどうかを確認してから投稿するよう心がけましょう。

特に、動画に関しては、通常のスピードで再生するだけでは、そういったリスクを発見できない恐れもあります。コマ送りやスロー再生などで、丁寧に確認をするよう心がけましょう。

写真や動画を投稿する前に・・・

- ★ 楽しい気持ちの勢いそのままではなく、少し落ち着いてから投稿するようにしましょう。
- ★ 個人情報が映り込んでいないか、丁寧に確認をしましょう。
- ★ 確認の時は、自分ひとりではなく、家族や友人と一緒に確認をしましょう。
- ★ 個人情報が映り込んでいる写真や動画をどうしても投稿したい場合には、個人情報を隠す加工をしてから投稿しましょう。

